



# FSCだより

北里大学獣医学部 附属フィールドサイエンスセンター

第 59 号 2015.11.27

## FSCの設立趣旨

土地、植物、動物及びそれらを取り巻く環境を生命系として教育・研究を行うとともに、これらの研究成果を通して、広く地域社会の発展に寄与することを目的とする。

## 十和田農場から

### 平成 27 年度全国大学附属農場協議会秋季全国協議会に参加して

8月27日、28日の両日に金沢市内の金沢東急ホテルにて、「平成27年度全国大学附属農場協議会秋季全国協議会及び教育研究シンポジウム」が開催されました。

本学からは寶示戸センター長、黒瀬十和田農場長、南部主任の3名が出席しました。

27日の午前は協議会、午後には教育研究集会シンポジウム、全国大学農場技術賞・教育賞の受賞式と受賞講演が行われました。

28日の現地検討会は、石川県砂丘地農業研究センターと兼六園の視察をしました。金沢駅からバスで、のと里山街道沿いの河北潟干拓地について説明を聴きながら砂丘地農業研究センターへ移動しました。

砂丘地農業研究センターは砂丘野菜と砂丘果樹の試験研究施設で、現在は大粒ブドウの「ルビーロマン」を県の特産品にしようと研究しているそうです。しかしながら、ルビーロマンは栽培が難しく、また出荷基準も厳しいので、消費化率が40%に満たない状況とのことで、栽培技術と商品性向上技術の確立に重点を置き試験研究しているそうです。

次の視察地「兼六園」では庭園管理についての説明を受けました。

兼六園には沢山の銘木があるのですが、過去には松食い虫の被害にあったそうです。今は、防除のために薬剤を散布しているそうです。しかし、人が集まる公園であるため、薬剤の散布には周辺への周知等に大変苦労しているそうです。また、もしもの時のために樹木や苔は別の場所で育てているそうで、被害にあった銘木の子孫が元の場所に植えられていました。

観光案内では聞くことのできない、貴重なお話を聞くことができました。



八雲牧場から

八雲町との連携協定の調印

7月6日に、八雲町と北里大学の連携協定の調印式および高井学部長の記念講演が行われ、その記事が北海道新聞に掲載されました。今後も北里八雲牛の普及推進を中心に八雲町と連携して様々な取り組みに挑戦できればと思います。

北海道新聞 2015年(平成27年)7月8日(水曜日) 渡島・檜山 28

### 北里八雲牛 ブランドに 町、北里大と連携協定

【八雲】町と北里大は6日、「北里八雲牛」のブランド化推進や、優れた人材の育成などを目的とした連携協定を締結した。町が大と連携協定を結ぶのは、昨年の札幌大谷大に続いて2例目。

同大は、獣医学部付属フアイールドサイエンスセンター八雲牧場を1976年に開設。近年は、100%自給肥料で育てた「北里八雲牛」を町内農家が協力して生産し、脂質が少なく独特のうま味をもった赤身肉が広く評価されている。

町も北里八雲牛の町産成牧場への預託使用料を半分に減額するなど後押しして

おり、地域活性化や学術振興を自指して協定を結ぶことになった。

はびあ八雲で行われた協定締結式では、岩村浩昭町長と小林弘祐学長が協定書に調印した。岩村町長は「自然美あふれる八雲は、人材を育てるフィールドワークに適した絶好の町」とあいさつ。小林学長は「一町の熱い期待に応えられるよう自分の動きを果たしたい」と述べた。

締結式に続き同大獣医学部の高井伸二学部長が講演し、シカなどの野生動物肉「シビエ」を安全に食べるための心がけについて話した。(井野博雄)

北里大学

北里八雲牛のさらなるブランド化などを旨し、協定書に調印した岩村町長(左)と小林学長

## 渡島 檜山

森支局	☎01374・2・2050
森町清澄町22	
八雲支局	☎0137・62・2211
八雲町富士見町132	
木古内支局	☎01392・2・2026
木古内町本町22	
江差支局	☎0139・52・0007
江差町地神町105	
せたな支局	☎0137・84・5821
せたな町北檜山区徳島11	

### 学部学生実習無事終了

生物環境科学科（A 班 7/6～8、B 班 7/8～10、学生 91 名）、動物資源科学科（A 班 8/3～7、B 班 8/26～30、C 班 9/1～5、D 班 9/7～11、学生 127 名）の計 6 回の学部学生実習が無事終了しました。

内容は、スタディウォーク、簡易電気牧柵の設置～牛の追い込み、除角・去勢、植生調査、食肉の官能評価などを行い、最後の懇親会には北里八雲牛の BBQ で盛り上がりました。

反省会では引率教員、学生の反省、実習への要望なども挙げられ、今後の実習がさらに良いものになるよう改善していきたいと思います。



### 医学部学生実習

8 月 19 日～25 日の日程で医学部の学生実習が行われました。今年は 2 班に分かれて、1 年生 59 名が参加し、牛の追い込みや生薬栽培の見学などを行いました。

みなさん、初めての事ばかりで最初はとまどっているようでしたが、楽しく興味深く実習を体験していました。（写真は医学部実習の様子）



### ヤマザキ学園大学牧場実習

9月17日～19日には、ヤマザキ学園大学の牧場実習が行われました。

普段、小動物に触れる機会はあるけれども、大動物に触れる機会は少なく、牛を間近で見ると感動している学生もいました。

今年の参加学生数は11名と少人数でしたが、真面目で大動物に関心のある学生ばかりで、たくさんの質問に対応しました。

### スマイルキャラバンへ参加

北海道スマイルキャラバン～あなたの街とファイターズ～が9月26日～27日に八雲小学校校庭などで開催され、地域の皆さんに八雲町内で北里八雲牛の生産が行われていることとその生産意義を知ってもらうため出店しました。

また、草塾八雲牛の加工品であるコンビーフの試食を行いながら、加工品販売を行いました。



(編集担当：畔柳 正)